

スクラム

10月4日(火) 第85号

発行：東京清掃労働組合墨田支部 企画・総務部
東向5-9-11すみだ清掃事務所分室内 E-mail: seisousumida@juno.ocn.ne.jp

遠田新委員長を先頭に闘う方針確立



13回定期大会

10月1日(土)、支部第13回定期大会を分室休館室で開催しました。運動方針を中心とした全ての議案が満場一致で承認され、遠田新委員長を先頭に、向こう一年間の闘う意思統一をすることができました。

新規採用を勝ち取る

岡崎組織・共闘部長の司会で開会し、高橋幸司代議員が大会議長に選出されました。冒頭、斉藤委員長のあいさつ、桐田中央執行委員長をはじめとした来賓の皆様から連帯のあいさつを受け、佐々木書記長から一般経緯報告、森内財政部長から会計報告を行

いました。

早瀬副委員長から提案した初年度運動方針(案)の骨子は、墨田区清掃事業の中長期的なあり方を労使協議で確立し、直営業務と必要人員を明らかにすること。そして技能継承や事業の安定運営に必要な人員確保のために定期的な新規採用をさせること。一人でも多くの昇任を勝ち取ることも、勤勉手当の成績率制度などで組合員間の分断を図らうとする区局とは

全組合員の総力で闘う、といったものです。

森内財政部長が提案した予算(案)は、今年度から各区交付金の考え方が変更されたことから、特別会計を設け、交付金未来の趣旨である交渉とそれに準ずる機関会議に係る費用として管理することとしました。

すべての議案は代議員の満場一致で承認され、向こう一年間の闘う意思統一を図ることができました。

前回大会での規約改正に基づき、今年度から企画・総務部、組織・共闘部、労働条件調査部の3部体制となり、それぞれのキャップを副委員長が担うこととなります。

新旧役員からあいさつを受け、遠田新委員長の力強い発言で、「団結して頑張ろう」と誓い合いました。

斉藤委員長あいさつ(要旨)



握できない現場が増えたことにより事業の質が劣化していると言われていきます。

移管以降

厳しい闘いの結果、収

賃金サービスなどの清掃業を

移管から早くも16年、8千名だった組合員は約半数まで減少しています。ごみ減や資源化向上もありますが、民間活力の導入・拡大が要因です。我々職員が把

集・運搬の大部分が直営の手を離れています。そのことにより清掃事業を賃金な公共サービスとして確立するという概念が局から消えてしまったのではない

ではのきめ細かい、安心・安全な収集・運搬、指導啓発業務の充実、高齢者・弱者に寄り添ったサービスなどを全員が気持ちを含ませて日々の作業実践をやる

必要があります。そして平行的に闘うのではなく、極めて重要な局面を迎えています。戦争のできる闘い、沖繩の基地移設問題、原発再稼働、労働法制の大改革など、すべての労働者、市民と連携し闘わなければなりません。

厳しい時だからこそ団結が必要。本日確認される新体制への更なる結束と努力をお願いします。墨田支部一丸となってがんばりましょう。

第13回定期大会 要旨

(敬称略)

東京清掃労働組合

中央執行委員長 桐田達也

第五地連議長 山本英広

墨田区職員労働組合

執行委員長 林 恵子

部落解放同盟墨田支部

書記長 藤本忠義

墨田区労働組合連絡会

名誉顧問 加藤雄二

墨田区区議会議員

あべきみこ 堀よしあき



▲ 議長 高橋代議員



▲ ご来賓の皆さま ありがとうございました

全組合員の団結で予算・人員闘争に勝利しよう

2017年度役員体制



■書記長

斉藤 幸司



■副執行委員長

佐々木 勲



■副執行委員長

岡崎 広



■副執行委員長

森内 政行



■執行委員長

遠田 寛樹



■執行委員

高橋 昭久



■執行委員

稲垣 晃



■執行委員

関根 猛



■執行委員

渡邊 靖彦



■書記次長

長妻 芳典



■執行委員

稲垣 英治



■執行委員

岸 勝也



■執行委員

渡辺 陽之



■執行委員

都築 慎太郎



■執行委員

斉藤 修

今大会で退任された執行委員 島さん、高口さん、豊田さん、小水さん、高橋さん



■執行委員

豊田 吉三さん



■副執行委員長

島 一男さん

長年のご尽力に敬意を表します。

本当に
お疲れ様でした



■執行委員

高橋 武志さん



■執行委員

小水 浩次さん



■執行委員

高口 隆明

木村 明
穴倉 靖浩

■会計監事



■執行委員

早瀬 敏夫



懇親会

大会後は衛兵飯店で意見交換を行いました